

ふるさと
よもぎま
「加茂の百年企業」
その6



(同) 山口屋
代表社員 山口栄介

当店の創業は1871年（明治4年）と言われており、当時の古い地図にも載っているそうです。

開店当初は現在の場所ではなく、上町との隣に面した場所にあったそうです。

商品が増えていくにあたり手狭になったのと、現在の場所の前所者が引越しをされた

開業当初は薬工品や竹籠などを中心に扱っていたのですが、現在はお客様のご要望に合わせて商品を増やしていき、生活雑貨を多種取り揃えて現在に至っております。

現在、私で六代目ですが、商品は時代の流

れと共に変わりつつあるものもありますが、昔を懐かしむ方も多いようで竹籠などを求める方がご来店くださいます。

だと思えます。定番の笠は夏涼しく、冬は雪が降っても頭に被らないなどのメリットがあり、喜ばれている人気商品です。畳表（上敷）も上質な商品を提供しており、敷いて良かったと言われると商売冥利に尽きます。



大正初期の仲町表通り

(写真：写真集ふるさと百年<三条・燕・加茂より>)

現在は同業店舗やインターネットなどの普及、増加、後継者問題など課題はありますが、当店は昔と変わらずお客様への感謝と良い商品を提供して今後も加茂市の発展に貢献していきたいと思えます。

(同)山口屋 / 加茂市仲町3-2 TEL:0256(52)0734



市内事業所の個性豊かな社長さんや店長さんなどの意外な交友関係をご紹介します。いつかあなたにも繋がるかも？

いいともバトン：No.37 登場の小柳千春さん ➡ 佐藤美穂子さん



左 / 佐藤美穂子さん 右 / 木下桂子さん

いいとも No.38

イラストレーター nezi さんこと佐藤美穂子さんの「とものわ」は「パッケージプラザ マルサン」(下条)の木下桂子さんです。明るく元気な木下さんと、(自称)人見知りの nezi さんを引き合わせたのは、10年ほど前に榊山忠さんが主催した下条エリアの「ご近所さんイベント」でした。出展者として顔を合わせたのですが、気さくな木下さんに「初めて会った気がしなかった」と nezi さん。それがご縁で一緒にイベントに参加したり、仕事で関わったりと、ずっとお付き合いが続いているそうです。イベントに登場する nezi さんの「モンちゃんつくりくじ」は、もちろんマルサンで材料を調達。「子供たちが楽しんでくれるのがイチバンだね〜」とは言っていますが、何より二人が楽しんでいるのが会話から伝わってきます。創業70余年の榊丸三包装を支える木下さんと、心和むイラストを描き続けて20年の nezi さん、赤いハッピーが似合う、とってもチャームングなお二人でした。